

(2) 第1回企業×学生交流会

第1回交流会

日時	令和2年12月5日(土) 13:30~15:00																														
会場	Zoomにて																														
テーマ	衣・食・住																														
担当	メインファシリテーター・総合司会：藤井優希（和歌山大学、4期） サポート：浦谷拓弥（大和大学、2期）、岡橋拓摩（大和大学、3期）、 中嶋未歩（和歌山大学、4期）、建林萌恵（和歌山大学、4期）																														
参加者チェックイン	テーマ「一番最近、買ったものは何ですか？それはどこで買いましたか？」																														
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍になってからあなたの消費はどのように変化したか ・withコロナ時代に私たちはどのような消費活動を選ぶのか？ 																														
	 <p>The screenshot shows the Zoom meeting interface with the following details:</p> <p>第1回企業×学生交流会 2020年12月5日(土) 13:10~14:55 Zoomにて開催</p> <p>次第</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:10[8]</td> <td>交流会の趣旨説明</td> <td>大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)</td> </tr> <tr> <td>13:18[2]</td> <td>岡橋先生のお話</td> <td>岡橋拓摩(大和大)</td> </tr> <tr> <td>13:29[3]</td> <td>参加企業のご紹介</td> <td>消費生活審査部門(株)8社 日本消費者生活センター・ソーシャル リサーチ協議会(NCS)・住 日本ヒーリング協議会1社</td> </tr> <tr> <td>13:30[5]</td> <td>参加者チェックイン</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>13:35[10]</td> <td>今日のテーマ趣旨説明</td> <td>大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)</td> </tr> <tr> <td>13:40[30]</td> <td>グループワーク</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>14:18[30]</td> <td>全体共有＆まとめ</td> <td>各グループ代表者 藤井優希(和歌山大)</td> </tr> <tr> <td>14:45[3]</td> <td>岡橋先生のお話</td> <td>岡橋拓摩(大和大)</td> </tr> <tr> <td>14:55</td> <td>閉会</td> <td>藤井優希(和歌山大)</td> </tr> </tbody> </table> <p>拡大版は、資料17参照。</p>	時間	プログラム	主催	13:10[8]	交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)	13:18[2]	岡橋先生のお話	岡橋拓摩(大和大)	13:29[3]	参加企業のご紹介	消費生活審査部門(株)8社 日本消費者生活センター・ソーシャル リサーチ協議会(NCS)・住 日本ヒーリング協議会1社	13:30[5]	参加者チェックイン	全員	13:35[10]	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)	13:40[30]	グループワーク	全員	14:18[30]	全体共有＆まとめ	各グループ代表者 藤井優希(和歌山大)	14:45[3]	岡橋先生のお話	岡橋拓摩(大和大)	14:55	閉会	藤井優希(和歌山大)
時間	プログラム	主催																													
13:10[8]	交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)																													
13:18[2]	岡橋先生のお話	岡橋拓摩(大和大)																													
13:29[3]	参加企業のご紹介	消費生活審査部門(株)8社 日本消費者生活センター・ソーシャル リサーチ協議会(NCS)・住 日本ヒーリング協議会1社																													
13:30[5]	参加者チェックイン	全員																													
13:35[10]	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会主催 藤井優希(和歌山大)																													
13:40[30]	グループワーク	全員																													
14:18[30]	全体共有＆まとめ	各グループ代表者 藤井優希(和歌山大)																													
14:45[3]	岡橋先生のお話	岡橋拓摩(大和大)																													
14:55	閉会	藤井優希(和歌山大)																													

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	46名	大阪府講座受講生4 和歌山大学講座受講生42
リーダー会	5名	2期生1、3期生1、4期生3
企業	14名	ACAP:ハウス食品(株)、タビオ(株)、ACAP西日本支部啓発・交流部会副部会長、雪印メグミルク(株)、伊藤ハム米久ホールディングス(株)、パナソニック(株)、大阪いずみ市民生活協同組合、カスタマーケアプラン NACS: 繊維製品研究会2、食活研究会2、西日本支部長 日本ヒーブ協議会:第一生命
大学	1名	和歌山大学1
その他	4名	大阪府消費生活センター3、事務局1
合計	70名	グループ分け11班(衣3グループ、食4グループ、住4グループ)

<第1回交流会の様子>

0. 事前準備

1時間前

- ・各自PCを立ち上げる
- ・全員イヤホンをつける(ハウリング防止のため)
- ・各自役割の確認

20分前

- ・Zoom会議をオンライン
- ・googleスライドで作成した今日の流れの資料を共有する
- ・スライドは、事前の準備についての注意事項を出す
- ・参加者を、事前にグループ分けした名簿に応じてグループ分けしていく(ブレークアウトセッションにて)
- ・グループ担当は、ホスト役に

1. 開会式

司会 藤井優希(和歌山大学)

まず初めに、司会者からネット上での交流会になったことを伝え、協力をお願いした。

2. 交流会の趣旨説明とリーダー会の実績

発表者:浦谷拓弥(リーダー会代表、大和大学)

主催者であるリーダー会を代表して、交流会の趣旨説明とリーダー会のこれまでの実績について紹介した。

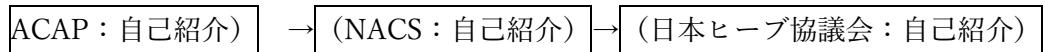
3. 岡崎先生よりご挨拶

今年度コロナ禍の中で養成講座を実施し、企業の方にもご協力をいただきながら交流会を

開催できることへの感謝が伝えられた。

4. 企業のご紹介

司会者から、本来であれば、実際に対面することでどんな企業の方が参加されているのかすぐにわかるが、Zoom での開催となったことから、参加されている企業の顔が見えにくいため、企業の参加者の皆様から自己紹介をいただくことになったことが伝えられた。以下の順番で一言自己紹介をしていただいた。



5. 参加者チェックイン

司会者から、参加いただいている学生、企業の方全員に、今日のワークショップに参加していることを相互に伝えるために、チェックインの作業をしていただくことを伝えた。

全員、回答をチャットに入力してもらうこと、入力する際には以下のルールに従って、入力をお願いした。

- ・チャットの対象は「全員」を選択
- ・入力は、名前・所属・回答の順

お題は、

「一番最近、買ったものは何ですか？それはどこで買いましたか？」

5 分後に、入力された内容について、司会者から傾向を伝えた。この時間を設けることで、少しお互いの顔が見えるようになったことを期待していることを伝えた。

6. ワークショップ

今日のテーマは、「衣」「食」「住」の3つのテーマであることを伝えた。

各グループのテーマは、「衣」「食」「住」いずれかで、すでに決めさせていただいており、事前に、ワークショップの参加申込していただいた方については、希望のテーマにグループ分けしていることを伝えた。

続いて、グループワークを始めるにあたり、いくつか注意事項を伝えた。

- ・途中でグループに分かれて議論する
- ・グループでは、全体の進行をしていただく人、書記、発表者を決める
- ・役割は、学生が担当
- ・グループでの議論終了後に、全体共有として各グループで話し合われた内容を発表
- ・グループごとにスライドを指定し、自分のグループのスライドの色のついたシートに、議論した内容を自由に入力。書記だけでなく、グループ全員が入力可能。最後の発表用資料としてもつかうことができるため有効に活用。

続いて、ワークショップの流れと主旨についての説明を行った。

テーマについての説明は、以下の通り。

「皆さんにはコロナ禍でどのくらい消費が減少したかご存じですか？こちらのグラフは1世

帶あたりの 1 ヶ月間の消費支出の変動をまとめたものです。季節変動がもともとありますので、この減少幅すべてがコロナの影響ということではありませんが、2020 年 3 月から 5 月にかけて大きく減少していることがわかります。

「衣」についてです。外出自粛期間や、テレワークやオンライン授業の実施によって、外出機会が減っている人が多いです。それによって、外出用のおしゃれな服や背広などが不要になった人も多いのではないでしょうか。実は、衣服の購入額も減少していて、そこからも読み取れる変化です。

「食」についてです。外食機会が減少した人が多いのではないでしょうか？また、飲食店などでテイクアウトやデリバリーを行うところが増え、利用する機会が増えたという人も多いのではないでしょうか？3 密を避けることが重要視される中で、歓送迎会などの飲食店で集まっての飲み会が減少するとともに、飲み会の新たな形としてオンライン飲み会が実施されるようになりました。定着しているというわけではないそうですが、飲食店への影響も大きいことが想定されます。

「住」についてです。テレワークやオンライン授業の実施に伴い、家にいる時間が増えたという人も多くいるのではないでしょうか？パソコン作業用の机を購入したり、DIY に取り組んでみたり、家にいる時間が長くなったことによる家の生活に変化が起こっているようです。また、テレワークに伴い、作業環境の確保という面で、家の間取りなどもそれに即したもののが考えられるなど、住生活に限らず、住居そのものについても見直されていることがわかります。」

最後に、グループワーク実施にあたり、注意事項を伝えた。

- ・今からグループに分かれて議論する
- ・グループでは、全体の進行をしていただく人、書記、発表者を決める
- ・役割は、学生が担当
- ・グループでの議論終了後に、全体共有として各グループで話し合われた内容を 1 分程度で発表
- ・発表では、主に第 2 テーマにて話したことを基に、2 つのキーワードを発表
- ・話し合っている内容を記録するために、グループごとにスライドを 1 枚用意
チャットに貼られている URL から入り、班の番号が書かれたところに入力
- ・スライドは参加者全員が確認することができるので、発表資料としても使って
- ・途中何か問題があれば、チャットで知らせる

この後、全員が 11 グループに分かれて議論した。（ブレイクアウトルームを利用）

7. 全体共有

11 グループが話し合われた内容について、順次発表を行った。

8. 閉会＆アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者に Web 上にあるアンケートに回答して頂くようお願いして終了した。